

# 平成 26 年度事務事業評価調査

事業コード	04010401	区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 経常
事務事業名	地域グルメ・お土産開発事業	担当部署名	地域振興課
		作成責任者職氏名	課長 北浦秀明
		内線	455
第4次総合計画体系	(基本柱)	(基本施策)	(細施策)
	04観光・産業・地域振興	01観光の振興	04村の特産品のブランド化
実施期間	<input type="checkbox"/> 単年 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (平成25年度～ 年度)		実施方法 <input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助等
根拠法令等	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	法令等の名称	—
		義務付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

## I 事務事業の概要<Plan>

(1)事務事業の目的及び内容	(2)対象(誰を対象とするのか)
<p>①目的</p> <p>村特産品の開発及びその販売を促進し、情報発信することにより、千早赤阪村としての知名度向上を図るとともに、観光振興及び地域の活性化を生み出すことを目的とする。</p> <p>②内容</p> <p>村民等による新たな料理、食品、土産物の開発を誘導し、商品化に向け支援する。</p>	<p>村民・村外</p>
(3)期待される効果(本事業によって対象者をどのような状態にしたいのか)	(4)事務事業を進める上での課題や問題
<p>特産品開発により来村者の増加を図り、村内の商工観光業者の事業収益の増加。</p>	

## II 事務事業の実施<Do>

(1)事務事業の事業費及びコスト費								
	24 年度 実績	25 年度		26 年度 事業費(見込)	27 年度 事業費(見込)			
		事業費(予算)	実績(見込)					
事業費(見込含む)(千円)(A)	200	200	98	200	500			
財 源 内 訳	国庫支出金							
	府支出金							
	分担金・負担金							
	使用料・手数料							
	起債							
その他の特財								
一般財源	200	200	98	200	500			
人員費								
一般職員所要人員(人)(B)	0.30	0.30	0.30	0.30	0.30			
一般職員人件費(平均給与×(B))(千円)(C)	1,664	1,767	1,767	1,767	1,767			
総コスト費(千円)(A+C)	1,864	1,967	1,865	1,967	2,267			
人口あたりコスト(円)	308	325	308	325	374			
(2)成果指標等								
番号	指標区分	指標名称	単位	25 年度			26 年度 目標値	27 年度 目標値
				目標値	実績値	達成率(%)		
①	目標指標	特産品開発	品	1	1	100%	1	1
②	目標指標							
③	目標指標							

○目標指標評価値(達成率平均値) 100% / 1 = 100% (A)

### III 事務事業の評価<Check>

(1)成果の自己検証		
評価項目	評価結果	評価の理由及びその考え方
①妥当性 ※施策の目的が村の政策体系に貢献しているか	3 4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	特産物として、「棚田米プリン」を開発した。
②有効性 ※期待された効果が得られているか	3 4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	作成したプリンは販売好評であるが、周知においては今後の課題である。
③効率性 ※効率的に進められているか	3 4. 非常に効率は良い 3. 概ね効率は良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	大生産量が見込めないため、限定発売になっている。
④公平性 ※受益や負担が公平になっているか	3 4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	現在のところ観光協会に加盟している1社で生産、販売は2店舗であるので同拡大していくかが課題ないなっている。

○事務事業評価値 12 / 16 75% (B)  
(①~④の合計/16)

(2)検証結果			
目標指標評価値 (A)	事務事業評価値 (B)	総合評価値 (A)+(B)/2	評価ランク(改善の目安)
100%	75%	88%	b
<small>a: 90%以上(現状維持又は拡充) d: 30~49%(休止・廃止又は縮小)                      b: 70~89%(見直し又は現状維持) e: 30%未満(休止・廃止)                      c: 50~69%(縮小又は見直し改善)</small>			

### IV 事務事業改善の方向性<Action>

(1)改善の方向性	
①改善の方向性(自己評価)	
A	← A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
②改善の方向性の理由、改善する上での具体的な改善策や課題等	
周知及び生産量のバランスをどうとっていくかが課題。	

### V 事務事業評価結果(担当者は記入しないでください。)

(1)政策担当結果	
好評である棚田プリンを今後どのようにPRし、生産力を向上させるか早急に検討する必要があると考える。また、新たな商品の開発を検討する必要があると考える。	A A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
(2)第三者による有識者会議結果	
/	A A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止
(3)行政経営戦略会議結果	
好評である棚田プリンを今後どのようにPRし、生産力を向上させるか早急に検討する必要があると考える。また、新たな商品の開発を検討する必要があると考える。	A A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止